

< 介護・医療連携推進会議における評価 > ※公表用 R4 年度

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	事業所名	こぶし 24 時間ケアサービスステーション三和
所在地	(〒 940 - 1151) 新潟県長岡市三和3丁目138番地2		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

24 時間 365 日営業。住み慣れた地域の中で築き上げた暮らしを支えていく。
情報共有にはタブレットを使用し、多職種連携にも活用している。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2022 年 11 月 1 日	従業者等自己評価 実施人数	(8) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施予定日	西暦 2023 年 1 月 15 日	メンバー人数 (合計)	(16) 人	※自事業所職員を含む
照会人数 (内訳)	■自事業所職員 (3 人) ■市町村職員 (1 人) ■地域包括支援センター職員 (1 人) ■地域住民の代表者 (1 人) ■利用者 (1 人) ■利用者の家族 (1 人) ■知見を有する者 (3 人) ■医療従事者 (5 人) ■その他 (人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・園の理念に基づき、しっかりと理解する事によりよい良い選ばれるサービスに繋げる。 ・コロナ禍での研修が続く中での工夫をしていき、援助に繋げ質の向上に努める。 ・災害、感染対策がしっかりと身につけているのか、マニュアルの見直し、振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に参加する機会が少しずつ増え出来るだけ参加（リモート込み）した。 ・毎月個々のカンファレンスを行毎月ミーティング時に行った。 ・前年度同様に担当者会議が照会での対応が多かった。細かい事など連絡を密にする様にした。 ・避難訓練を年2回実施が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修はリモート、動画視聴等で工夫して行い意見などまとめ共有した。 ・毎月の個々のカンファレンスは行った。 ・フェニックスネットで連携が出来ている居宅とはコメントとのやり取り、連絡を小まめに取った。 ・避難訓練は年2回行えた。参加した事がない職員も参加でき、意識づけが出来たと思う。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に手順書の見直しを行っていき、引き続き、援助の統一に努める。個々に担当ご利用者の援助内容の確認を行い、ミーティング時に、検討、周知を行う。 ・身体援助だけではなく、その方の生活の質の向上にも着目して行く。小さい気づきを大切にす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、統一したケアの見直し、再確認の利用者の手順書の見直しを行った。職員同士確認し合い、ミーティングの際にも話し合い、統一した援助が出来ているか確認をしていった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度から継続、毎月のミーティング時に援助内容の確認、見直しを行った。改善をすべき点を検討し改善した。 ・職員の個人差が出ない様統一する様にミーティング時に援助内容を周知する様にした。
2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業所との連携を密にし情報共有に努めて行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議が照会であっても電話連絡を入れ細かい部分の補足等行い、連絡を密に取るように努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェニックスネットだけではなく、小まめに電話連絡を入れるようにした。管理者、サービス提供責任者だけでなく担当の職員からも連絡をする様にしてもらった。 	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28～32)	<ul style="list-style-type: none"> ・三和地区に定期随時サービスがある。と少しでも認識して頂ける様に、パンフレットの配布やセンターにいつでも閲覧できるように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの規制もあり実質活動が出来なかった。 ・コロナ禍チラシなどの配布や出来る事があったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に発信する事等活動が出来なかった。 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の集まりにも参加したい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍だったが推進会議を2回とも対面で実施できた。対面で意見交換が出来た事がよかった。 ・
III. 結果評価 (評価項目 33～34)	<p>ご利用者がいつまでも住み慣れた地域、自宅で過ごされる様、またご利用者、ご家族から選ばれる事業所になる様、個々のスキルアップ、寄り添う援助、支援させて頂く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後もターミナルケアについて、個々に合わせた対応、援助を考え、寄り添う援助に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者ご家族から自宅で過ごせる事ができて良かった。好きなようにさせてもらい助かっている。等のお言葉を頂いた。日々の訪問からニーズを聞き出し援助に反映できるように努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナル対応の方がいられ、家族、ご本人様の気持ちにそった援助が出来たのではないかと今後この経験を生かしていきたい。 ・緊急コール対応は迅速に行い、在宅でも施設と同じように安心してもらえる様にヘルパー間で訪問を調整した。 	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常に園の方針を念頭に置き、判断し対応をする様に努めた。 ・個別計画にそって各々進める事はできていたと思う。 ・年間事業計画書は計画通りに行かない事が多かった。コロナ禍や時間的余裕がなくでなかった。前年度同様にパンフレットの配布など出来る事をし、コロナの規制の緩和も見えているので検討していく。 ・避難訓練は年 2 回行えた。参加した事がない職員も参加でき、意識づけが出来たと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別研修は来年度も各自の目標を持って進めて行くように計画を立ててもらおう。コロナ禍であったがリモート方式での研修が増えた。リモートでの研修も生かしつつ参加型の研修等も考えて行く。 ・前年度同様に個々のカンファレンスを毎月行うように計画に入れて行く。 ・災害時の避難訓練の参加(参加していない職員を優先する)設備の確認、災害時のマニュアルの見直しを行う。 ・施設自体が老朽化してきている。点検、危険箇所がないか把握する。
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の追加訪問、体調不良時の追加訪問も臨機応変し、変化時には迅速に対応した。 ・独居の方が多く、一日のペースを作りながら規則正しい生活、ご利用者の生活スタイルそった援助を考えていった。 ・毎月個々の手順書を見直す事により再確認、ヘルパー間の統一に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度同様に定期的に(毎月の事業所カンファレンス時に)援助内容の見直しを行い、統一したケア、より良いサービスに繋げる。 ・利用者個々の生活、ニーズを細かく拾い出し、援助に反映していきたい。

	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議は出来ない事があったが、その中でもフェニックスネットでの情報共有、電話連絡での連携を小まめに行う様にした。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度もフェニックスネット等を通じ、しっかりと情報提供を行っていく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28～32)	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度同様にコロナ禍の中で出来る事を工夫して、パンフレット、広報誌等検討する必要があった。改善できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの規制も緩和されて来るので、地域に向けてパンフレット等を活用し定期随時を認知して頂く様に活動していきたい。 ・地域の集まりにも参加したい。
III. 結果評価 (評価項目 33～34)		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回ご利用者、ご家族から暖かいお言葉を頂き、ありがたく思っている。日々の訪問からご利用者、ご家族のニーズを聞き取る様に努めた。今後も小さな変化、様子を見逃さない様に訪問させて頂く。 ・毎年わ変割らないが、園の方針である、その人がその人らしく生活できる様に他職種と連携を取り支えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続し、個人のスキルアップに努め求められる選ばれるサービスになる様に事業所として取り組んでいく。 ・自事業所だけでなく、連携先のサービス、ご家族との連携、信頼関係を築く事を大切にしていく。

※自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します